

家計にやさしい ジェネリック医薬品

まずは
相談を！

医療費お得術



最近、「ジェネリック医薬品」という言葉をよく耳にしませんか？
薬をジェネリック医薬品に替えると薬代の節約になるので、
医療機関や薬局で薬を処方・調合してもらう際には相談してみましょう。

用しやすくなりました。

新薬（先発医薬品）の特許期間満了後に、
同じ有効成分で製造・販売される薬をジェ
ネリック医薬品（後発医薬品）といいます。
新薬に比べて研究・開発費が少なくてすむ
ため、価格が2割から8割も安く、また、
大きさや味、においの改善や保存性が向上
するなど、より飲みやすく改良されている
ものもあります。

さらに21年度からは、ジェネリック医薬
品をもっと利用してもらうよう、当健保組
合もその促進に取り組んでいくことにして
います。ジェネリック医薬品が普及すれば、
家計にやさしく、健保組合の医療費支出を
抑えることもでき、さらには国全体の医療
費削減にもつながります。

WHO（世界保健機関）でもジェネリッ
ク医薬品の使用を推奨していて、すでに欧
米では医薬品の約6割のシェアを占めてい
るのに対し、日本での普及率はまだ2割に
も達していません。そこで厚生労働省は、
ジェネリック医薬品の品質検査を強化する
など、その利用促進に向け、積極的に取り
組んでいます。平成20年4月の医療費改定
では、処方せんの様式が変更され、より利

現在は、すべての新薬に対してジェネ
リック医薬品があるわけではありません
が、需要が高まれば今後も開発が進み、流
通も確保されるなど、より利用しやすくな
るでしょう。みなさんも医療機関や薬局で
薬を処方してもらう際には、「ジェネリッ
ク医薬品にしてみませんか？」と相談し
てみましょう。

薬代がこんなに 安くなります（参考）

■ある高血圧の薬を1日1回、 1年間服用した場合

新薬
8,760円

ジェネリック医薬品
5,480円

3,280円もお得！

■ある脂質異常症の薬を1日1回、 1年間服用した場合

新薬
13,140円

ジェネリック医薬品
6,570円

6,570円もお得！

■ある胃潰瘍の薬を1日2回、 3ヵ月服用した場合

新薬
3,240円

ジェネリック医薬品
1,080円

2,160円もお得！

* 沢井製薬ホームページより